【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公表番号】特表2012-508087(P2012-508087A)
【公表日】平成24年4月5日(2012.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2012-014
【出願番号】特願2011-536463(P2011-536463)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　9/007　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　18/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　9/00　５３０
Ａ６１Ｂ　17/36　３４０

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月30日(2012.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エネルギー源と、
眼に治療を施すためのアプリケータであって、前記アプリケータは遠位端を有し、前記アプリケータは、前記エネルギー源からある程度の量のエネルギーを受け取るよう構成され、前記アプリケータが受け取った前記エネルギーの第１部分は、前記遠位端を通って前記眼へ伝達され、前記アプリケータが受け取った前記エネルギーの第２部分は、前記アプリケータの前記遠位端から反射される、アプリケータと、
反射したエネルギーに対応する信号を検出するよう構成された双方向性結合器であって、前記信号は更に前記遠位端と前記眼との接触量に対応する、双方向性結合器と
を含み、
前記反射されたエネルギーに対応する前記信号は、前記接触量が増加するにつれて変化する電力を有する、
眼の疾患の治療システム。
【請求項２】
前記接触量は非接触を含む、
請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記反射されたエネルギーに対応する前記信号は電力を有し、前記システムは更に、前記電力が閾値よりも少ないかどうかを判定するよう構成されたコントローラを含む、
請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記反射されたエネルギーに対応する前記信号は電力を有し、前記システムは更に、前記電力が閾値よりも大きいかどうかを判定するよう構成されたコントローラを含む、
請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記アプリケータは、
眼に治療を施すために、前記エネルギー源からエネルギーを伝えるよう構成された伝導

エレメントと、
前記伝導エレメントに着脱可能に取り付けられるよう構成され、前記眼に配置可能な接触表面を有するカバーであって、前記接触表面の少なくとも一部は１つ以上の誘電体を含み、前記伝導エレメントからの前記エネルギーは、前記接触表面を通って前記眼に送出可能である、カバーと
を含む、
請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
前記カバーは、前記伝導エレメントの一部を覆うエンクロージャを形成し、前記アプリケータは更に冷却剤送出システムを含み、前記冷却剤送出システムは、前記カバーの前記接触表面および前記眼を冷却するために、前記エンクロージャ内に冷却剤を送出するよう動作可能であり、前記エンクロージャは前記冷却剤が前記眼と直接接触することを防ぐ、
請求項５に記載のシステム。
【請求項７】
前記双方向性結合器は更に、前記アプリケータが受け取る前記エネルギーに対応する信号を検出するよう構成され、前記信号の少なくとも１つは更に前記冷却剤パルスに対応する、
請求項５に記載のシステム。
【請求項８】
前記アプリケータに供給される前記エネルギーに対応する前記信号は、電力を有し、前記電力は、冷却剤が前記接触表面に送出されると減少する、
請求項７に記載のシステム。
【請求項９】
前記アプリケータの前記遠位端から反射された前記エネルギーに対応する前記信号は、電力を有し、前記電力は、冷却剤が前記接触表面に送出されると増大する、
請求項７に記載のシステム。
【請求項１０】
前記アプリケータの前記遠位端から反射された前記エネルギーに対応する前記信号は、電力を有し、前記電力は、冷却剤が前記接触表面に送出されると減少する、
請求項７に記載のシステム。